



2025年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年1月14日

上場会社名 株式会社プログリット 上場取引所 東
コード番号 9560 URL <http://www.progrit.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 岡田 祥吾
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 CFO (氏名) 谷内 亮太 E-mail ir@progrit.co.jp
配当支払開始予定日 -
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（機関投資家・個人投資家向けライブ配信及び当社サイト動画掲載）

（百万円未満切捨て）

1. 2025年8月期第1四半期の業績（2024年9月1日～2024年11月30日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年8月期第1四半期	1,421	38.7	445	38.6	445	38.7	327	48.7
2024年8月期第1四半期	1,025	52.0	321	107.7	321	115.6	220	117.7

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年8月期第1四半期	26.25	25.60
2024年8月期第1四半期	18.47	17.53

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年8月期第1四半期	3,770	1,964	51.8
2024年8月期	3,886	1,796	46.0

（参考）自己資本 2025年8月期第1四半期 1,953百万円 2024年8月期 1,787百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年8月期	-	0.00	-	13.00	13.00
2025年8月期	-	-	-	-	-
2025年8月期（予想）	-	0.00	-	18.00	18.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年8月期の業績予想（2024年9月1日～2025年8月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,700	28.0	1,070	29.8	1,072	31.2	784	28.5	62.82

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 6 「2. 四半期財務諸表及び主な注記 (3) 四半期財務諸表に関する注記事項 (四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年8月期1Q	12,482,280株	2024年8月期	12,480,480株
② 期末自己株式数	2025年8月期1Q	368株	2024年8月期	368株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年8月期1Q	12,480,827株	2024年8月期1Q	11,931,763株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載の業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手し得る情報と合理的であると判断する一定の条件によって作成しているため、数値記述内容の達成を確約するものではありません。また、実績は種々の要因にて変動することがあります。業績等の予想に関する注意事項等については添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算説明会内容の入手について)

当社は、2025年1月14日(火)に機関投資家及びアナリスト向けに決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明会資料は、速やかにウェブサイトに掲載する予定です。

上記説明会のほかにも、当社では個人投資家のみなさま向けに、定期的に事業・業績に関する説明会を開催していきます。この説明会で配付する資料および主な質疑応答は、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。今後の開催の予定等については、当社ウェブサイトをご確認ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	6
(セグメント情報等の注記)	6
(重要な後発事象)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における当社を取り巻く経営環境につきましては、雇用情勢及び所得水準の改善やインバウンド需要復調等が景気の追い風となる一方で、円安影響による原材料価格や光熱費の上昇、人件費の増加等による物価高継続や、不安定な世界情勢や為替変動等の影響により、不透明な状態が続いております。

しかしながら、当社が事業展開している英語学習市場につきましては、少子高齢化による国内市場の先行きへの懸念を持つ企業の海外進出意欲が衰えておらず、グローバル人材の育成・確保に必要な英語学習への関心が依然として高いことに加え、福利厚生の一環として英語学習を取り入れる企業も出てきております。個人の英語学習に関しても、グローバル化が進む状況の中で英語学習意欲は高い水準を維持しており、今後も引き続き市場全体が堅調に推移していくものと考えております。

また、生成AIの発展に伴い、英語学習業界も大きく変わることが予想されますが、当社としては英会話市場が縮小することはないと考えております。特にビジネスシーンにおいては人同士のコミュニケーションが極めて重要であり、今後もビジネスパーソンの英語学習需要は衰えることはないと考えております。そこで、生成AIを如何にうまく活用し、英語学習の効率アップや体験向上を実現できるかが、今後の鍵になってくるものと考えております。また、当社が参入をいたしましたAI英会話サービス領域においては、AIの精度による差別化は難しいと考えており、UIUXの磨き込みが競争のポイントになってくると想定しております。その一方で、テクノロジーの変化に関わらず英語学習で成果を出すためには、学習時間の最大化が欠かせない要素であるため、コンサルタントが行う伴走型のサポートの重要性は引き続き高いと考えております。

このような環境の中、当社におきましては、英語コーチングサービス「プログリット」において、集中学习によって飛躍的に英語力を向上させるために、①英語学習を継続させる習慣を身につけるためのコンサルタントによるサポート、②顧客ごとにカスタマイズしたカリキュラムの設計、③利便性の高い学習アプリによる学習環境、という主に3つの特徴において、継続的な品質向上と改善に取り組んでおります。

また、リスニング力向上に有効なシャドーイングに特化したサブスクリプション型の英語学習サービスである「シャドテン」は引き続き学習コンテンツの拡充やアプリの顧客体験改善等による平均継続期間の増加等により、有料課金ユーザー数は堅調に推移しており当社の収益基盤として順調に成長しております。

前事業年度において、2023年12月19日にスピーキングに特化したサービスである「スピフル」、2024年7月1日にAI英会話サービスである「ディアトーク」をローンチいたしました。スピフルは、スピーキング力向上のために必要なトレーニングの口頭英作文（注1）と実践の独り言英会話（注2）の双方を実践することに加え、AI添削による「振り返り」を行うサブスクサービスです。ディアトークは、AI講師が学習者の興味関心や近況を分析し記憶して、英会話の最適実践の場をオンラインで提供するサブスクサービスです。スピフル、ディアトークはプロダクト強化に注力し、マーケティングは徐々に加速してまいります。

以上の結果、当第1四半期累計期間の売上高は1,421,840千円（前年同四半期比38.7%増）、営業利益は445,316千円（前年同四半期比38.6%増）、経常利益は445,647千円（前年同四半期比38.7%増）、四半期純利益は327,662千円（前年同四半期比48.7%増）となりました。

なお、当社は英語コーチング事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載をしておりません。

(注) 1. 口頭英作文：日本語の文章を瞬時に英語に変換し、発話するトレーニングです。

2. 独り言英会話：自身で選んだお題について1分間英語でスピーチを行うトレーニングです。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末における資産合計は3,770,435千円となり、前事業年度末に比べ115,982千円減少しました。これは主に、敷金が94,542千円増加し、現金及び預金が201,633千円、売掛金が17,874千円減少したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期会計期間末における負債合計は1,805,475千円となり、前事業年度末に比べ284,460千円減少しました。これは主に、預り金が51,523千円増加し、未払金が136,982千円、賞与引当金が139,874千円、及び未払法人税等が51,751千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産は1,964,960千円となり、前事業年度末に比べ168,477千円増加しました。これは資本金、資本剰余金がそれぞれ135千円、利益剰余金が165,420千円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年10月9日に発表しました通期の業績予想につきましては、現時点にて変更ございません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年8月31日)	当第1四半期会計期間 (2024年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,041,922	2,840,289
売掛金	99,239	81,364
商品	18,127	19,460
貯蔵品	2,597	4,129
前払費用	66,765	80,700
その他	64,724	64,024
流動資産合計	3,293,377	3,089,968
固定資産		
有形固定資産		
建物	213,956	213,956
減価償却累計額	△64,724	△72,911
建物（純額）	149,231	141,044
工具、器具及び備品	22,333	24,949
減価償却累計額	△13,011	△14,385
工具、器具及び備品（純額）	9,321	10,564
有形固定資産合計	158,553	151,609
投資その他の資産		
投資有価証券	11,267	11,267
出資金	20	20
長期前払費用	354	182
繰延税金資産	175,453	175,453
敷金	246,592	341,134
その他	800	800
投資その他の資産合計	434,487	528,857
固定資産合計	593,040	680,467
資産合計	3,886,418	3,770,435

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年8月31日)	当第1四半期会計期間 (2024年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	27,517	28,778
1年内返済予定の長期借入金	58,665	53,460
未払金	320,988	184,006
未払費用	148,424	158,565
未払法人税等	182,237	130,485
契約負債	938,034	926,799
預り金	24,195	75,719
賞与引当金	182,911	43,036
役員賞与引当金	14,600	-
その他	92,576	115,969
流動負債合計	1,990,151	1,716,821
固定負債		
長期借入金	93,380	82,250
資産除去債務	6,404	6,404
固定負債合計	99,784	88,654
負債合計	2,089,935	1,805,475
純資産の部		
株主資本		
資本金	322,997	323,132
資本剰余金		
資本準備金	319,997	320,132
資本剰余金合計	319,997	320,132
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	1,145,240	1,310,661
利益剰余金合計	1,145,240	1,310,661
自己株式	△401	△401
株主資本合計	1,787,833	1,953,524
新株予約権	8,649	11,436
純資産合計	1,796,483	1,964,960
負債純資産合計	3,886,418	3,770,435

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自2023年9月1日 至2023年11月30日)	当第1四半期累計期間 (自2024年9月1日 至2024年11月30日)
売上高	1,025,141	1,421,840
売上原価	264,965	356,007
売上総利益	760,176	1,065,833
販売費及び一般管理費	438,909	620,517
営業利益	321,267	445,316
営業外収益		
ポイント還元収入	336	628
その他	128	40
営業外収益合計	465	669
営業外費用		
支払利息	430	337
営業外費用合計	430	337
経常利益	321,301	445,647
税引前四半期純利益	321,301	445,647
法人税、住民税及び事業税	100,946	117,985
法人税等合計	100,946	117,985
四半期純利益	220,355	327,662

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前四半期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該実効税率を乗じて計算しております。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費及びその他の償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自2023年9月1日 至2023年11月30日)	当第1四半期累計期間 (自2024年9月1日 至2024年11月30日)
減価償却費及びその他の償却費	5,170千円	13,675千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社は、英語コーチング事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

(譲渡制限付株式報酬としての新株式の発行)

当社は、2024年11月27日開催の取締役会において、譲渡制限付株式報酬として新株式の発行を行うことについて決議し、2024年12月27日に払込手続きが完了いたしました。

(1) 発行の概要

(1) 割当日	2024年12月27日
(2) 発行する株式の種類及び数	当社普通株式 28,456株
(3) 発行価額	本新株発行は、当社の取締役の報酬等として当社の普通株式を発行するものであり、当該普通株式と引換えにする金銭の払込み又は財産の給付を要しません。 ※ 当該普通株式の公正な評価額は、本日開催の取締役会の前営業日（2024年11月26日）における東京証券取引所における当社の普通株式の終値である1,142円です。
(4) 発行価額の総額	32,496,752円
(5) 資本組入額	1株につき571円
(6) 資本組入額の総額	16,248,376円
(7) 割当先	取締役3名 28,456株 社外取締役を除きます。

(2) 発行の目的及び理由

当社は、2024年11月5日開催の取締役会において、役員報酬制度の見直しを行い、取締役報酬額の改定及び譲渡制限付株式報酬制度の導入を決議しました。また、取締役報酬額の改定及び本制度の導入に関する議案を2024年11月27日開催の第8回定時株主総会に付議し、決議されました。

当該新株発行は、当社の取締役（社外取締役を除きます。）に、当社の企業価値の持続的な向上を図るインセンティブを与えるとともに、株主の皆様との一層の価値共有を進めること、及び当社の業績と取締役の報酬との連動性を明確にすることを目的として発行されるものであります。